

放送番組審議会議事録

燕三条エフエム放送株式会社

1、開催年月日 令和6年7月18日

2、開催場所 燕三条エフエム放送会議室

3、委員の出席 8名

・委員総数 …… 5名

・出席者氏名…本間美加委員長、瀬戸明委員、田辺とも子委員、遠藤愛子委員
堀越 巖委員

・欠席者氏名…市島清貴委員、諸橋美香委員、結城義博委員

・事務局出席者…阿部傳代表取締役、阿部まゆ子局長、高井唯行

4、議題

(1)「サンジョイフル768」(6月25日 12:30～12:45放送)

本間美加委員長

最近雨が続き、鉄道に影響が出てご迷惑をおかけしています。関東甲信は今日あたりに梅雨明けするようですが、ゲリラ豪雨には気をつけていただきたいと思えます。

梅雨が明けますと、県内はイベントが控えております。弥彦、燕、三条でお祭りが始まります。8月2日3日は長岡まつりです。多くのお客様がいらっしゃいます。事前に切符をお買い求めいただくと、安心してお祭りを楽しむことができます。よろしくおねがいいたします。

阿部代表取締役

弊社は7月に大幅な番組改編をいたしました。ご意見がございましたら何卒よろしくお願いいたします。災害・防災のことを鑑みて大幅改編をいたしました。BSN ラジオと同時放送の番組の導入は、いざというとき県域放送局からの情報が流れる、衛星放送を「J-Wave」から「ミュージックバード」に変更したのは、コミュニティ FM 局向けのチャンネルがあったこと、さらに、ラジオマイクの予備免許が7月22日に出ます。これを使うことにより、災害時の現場レポートに役立てられるということです。

そして、災害時の「臨時災害 FM 局」として弊社が協力できるよう、弥彦村、加茂市、田上町と協定を結んでおりますが、一歩進められるよう、加茂市側に放送エリアに加えられるよう働きかけを行っていく予定です。

本日も番組審議をよろしくおねがいいたします。

本間美香委員長

番組内で、防災グッズを取り扱っている企業が出てきたり、ペット避難所が設置されている様子が聞き取れました。ペット避難所では、ケージが4基だけで足りるのか心配になりました。

三条市の水害防災訓練の取材内容でしたが、全体の取材なのか一部の取材なのか、もう少し番組で紹介してほしいです。インタビュー部分はよかったです。

瀬戸委員

一遍通りの内容で、もう少しゆっくりと話を聞きたくなりました。インタビューを受けられた方の話で、災害時にテレビとラジオを聞いていたが、2日目以降はテレビだけを見ていたということですが、ラジオの有効性のほうが高いと思いました。インタビューの部分は訓練についていいことばかりのコメントでしたが、悪いところも拾ってほしいと思いました。

堀越委員

オープニングの BGM はアタック音が強く、その後のナレーションはやさしい声だったので、少しギャップを感じました。インタビューのところは、緊張を与えないように聞かれていたので良かったと思います。ただし、この番組内容の「背景」「ねらい」は何なのか、そこをもう少しアピールしてほしいです。インタビュー相手に高校生や子供の声になかったので、拾ってほしいです。「公助・共助・自助」という防災の市民の取組の声もほしいですね。役所の職員の声ももっと流してほしいです。そのほか、全体の概要が見えない、雨天時の様子の説明が欲しい、など不足感はありません。

田辺委員

初めて聞いた番組です。みなさん、求めるものが高すぎる感じがします。私はそこまで求めていません。防災訓練の一コマを番組で取材し流したという風に理解して聞いていました。ただ、三条市行政課の方針が伝わってこなかったのが残念です。15分番組ということで、訓練の様子を伝えるには有効だったのか疑問ですが、三条市の市民に訓練に参加してほしいという意図は伝わってきました。市民の感想は親近感が持てて、耳をそばだてて聞いてしまいました。

この番組は再放送はないのですか？ぜひ、再放送枠を作ってほしいです。

遠藤委員

私燕市民なので、この番組の内容がよくわかりませんでした。三条市の防災訓練の全体概要の説明があるといいと思いました。訓練に参加されていた企業のインタビュー部分が長かったようにおもいます。インタビュー対象者は、もう少しいろんな世代に出てほしかったです。

本間委員長

そのほか、ご意見はありますか？

瀬戸委員

ラジオの災害放送はテレビより有効だと思いますが、スタッフは大変だと思いますが…。

阿部代表取締役

三条市は災害があった後の伝承がありますが、燕市は災害がめったにないので災害に対する意識が薄いと思います。

20年前の三条の水害について、私どもの放送では、市長の直接のアナウンスで市民に十分に伝わっていたと思います。また、企業(コロナ)の社長は、社員の安否を電話で放送に出ていただき大きな反響がありました。その後、各社さんも放送に出ていただき、社員の安否確認の情報を伝えられました。

堀越委員

燕市では、2019年の10月の台風災害の時、大河津分水に近寄らないよう「割り込み放送」を依頼しました。

阿部局長

分水付近に近寄らないようの注意喚起の放送を行いました。

阿部代表取締役

20年前の水害の時、燕市民に対し、余分なラジオお持ちの方は持ってきてほしいと放送で言ったら、1万台ものラジオを提供していただきました。それを聞いた被災者リスナーは取りに来ていただきました。また、被災者の方を含め、リスナーから多くの情報を局に寄せていただきました。

まさに助け合いの放送だったと思います。

※市島委員よりレポートでの報告がありました。

「訓練の全体像が見えない中、細かなインタビューが長く続いて少しわかりづらい。はじめに、水害対応防災訓練の趣旨を具体的に説明し、ラジオでは難しいですが、中学校やセンターの中の様子が見えてくるような描写があればよかったです」

(2)その他 次回の番組審議委員会の日程について

次回開催は、9月を予定。(9/18,19)

5、審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表内容及び年月日

自社放送 令和 6年 7月 24日(水)

書類のエントレンスホールへの備置き 令和 6年 7月 24日(水)

自社 HP 上に記載 令和 6年 7月 25日(木)

6、その他、参考となる事項

特になし。